

2021 年 4 月 11 日(15 週目) 主日礼拝

「勝利する者たちの祈りと賛美」(詩篇 1:1-6)

詩篇は、聖書の中でも一番多くの内容がある。詩編の 75 篇をダビデ記録した。12 篇をアサフが記録した。詩篇は、イスラエルが栄えた時代の祈りと賛美である。祈り、賛美、礼拝をする時に強い霊的なサミットとなる。祈りと賛美ができれば、様々な問題も解決される。ダビデは、たくさん問題があったが、祈りと賛美を通して用いられた。問題の中でも祈り、賛美をすることができれば、人々が生かされていくようになる。詩編の中でもダビデが書いた詩編を中心に見ていく。詩篇 1 篇は、聖書の序論である。

1.幸いの者の歌	2.味わう者の歌	3.勝利する者の歌
▲賛美は、曲をつけた祈りである。祈りは、私達に必要なである。 1)悪者—詩篇 1:1 (1)悪者の話、世の言葉を続けて聞くと、悪者になってしまう。 (2)私達は、暗闇から抜け出す救いを受けなれば。 (3)悪者のはかりごとに歩まないから、幸いな者である。 2)主の御言葉—詩篇 1:2 (1)キリストの十字架によりサタンの奴隷、罪人から解放をされた。 (2)キリストが私達の内におられる —御言葉を通してご自身を現されていくようになる。 (3)神様の御言葉を聞いてこそ、神様が生きていることを分かる。 (4)御言葉をいつも黙想をする人となるように。 3)実、栄える—詩篇 1:3 (1)祝福の証が現れるようになる。 (2)御言葉を黙想をする人は、水路のそばに植わった木のようで、その人に多くの実が結ぶようになる。 (3)御言葉を黙想する人は、何をしても栄える。 4)ヨハネ 15:5(わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。) (1)キリストがぶどうの木で私達は枝で絵ある (2)キリストと一つになったことを御言葉で味わう。 (3)キリストと一つになったら、実が結ばれるようになる。	▲神様の御言葉を黙想する。 1)詩篇 23:1(主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。) (1)ダビデの味わいの賛美である。 (2)詩 23:1-6 の御言葉を何度も書いてみたり、暗唱をして味わうように。 (3)羊飼いである主が、私と共にいるので乏しいことはない。 2)導き—詩篇 23:2-3 (1)羊飼いは正しい道に導いていく。 (2)私達の人生が間違いの道に行ったら、神様が損である。 (3)神様の栄光のために、私達を栄えるように導いて下さる。 3)詩篇 23:4(死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませんが、あなたが私とともにおられますから。) (1)私達は危機の中でも恐れない。 —神様の武器で私達を守る。 (2)救われた事が祝福である事を知る。 (3)私達は何も乏しい事はない。	▲私達は、必ず勝利をするようになる。 ○詩編は戦いについて書かれている。「敵」という言葉が何度も出てくる。私達は、サタンとの戦いをしていく。 1)詩篇 18:1(彼はこう言った。主、わが力。私は、あなたを慕います。) (1)全て戦争に勝利をする歌を歌っている。 —主はわが力である。 2)詩篇 103:1(わがたましいよ。主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。) (1)祈り、賛美を通して、主をほめたたえるように。 (2)祈り、賛美が出来る者はすでに勝利をしている。 (3)問題が大きいほど大きな答えがくるようになる。 3)詩篇 110:1(「わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右の座に着いていよ。」) (1)キリストがサタンを滅ぼす王である。 (2)女の子孫がサタンを砕く(創 3:15)内容を賛美している。 (3)この世を神の国とするためである。 (4)神様はサタンの国を滅ぼす約束をされた。 —神の子を通して悪魔から奪還する(アブラハム～ヨセフ) (5)征服をすることを忘れた時にエジプトの奴隷となる。 (6)ダビデは、周辺国家の征服していった。 —サタンから奪還をして、神の国になるようにしていく。 (7)私達は祈りと賛美を通して、キリストとの結合を味わう。 (8)詩 110:3 ・信仰が強められて、若者のように神の国の為に奪還をする。 ・私達は、霊的に強くなるように。 4)パウロの宣教 (1)女奴隷の悪霊を追い出す(使 16:16-18) (2)賛美と祈りをする時に大地震が起こる(使 16:25)。 (3)看守と家族が救われる(使 16:30-32)。 (4)長官たちを味方につけていった(使 16:35-40)。 (5)権力者を私達の味方につけていくように。

現場地教会(2021 年 4 月 11 日～2021 年 4 月 17 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「勝利する者たちの祈りと賛美」(詩篇 1:1-6)

【讚美】 396 主イエスの御名高く

【祈り】

①教会の祈りの課題

1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と 237 に働く暗闇と霊的戦いができますように。
 2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と 237 を、御言葉と祈りで癒すことができますように。
 3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と 237 のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。
※御国イザヤ牧師に聖霊充満と 5 つの力が与えられるように。
- ②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 祈り題	1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) 3. レムナント(イザヤ 6:13) 4. 癒し(使徒 19:8-20) 5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 6. 200 都市(創世記 41:36-38) 7. 1000 大学(使徒 19:9-10) 8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10) 12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	1. キリストによってサタンと罪の奴隷から解放され、御言葉を通して神様を味わい、キリストと一つになることで、霊・魂・体・生活が強められる幸いな者になったことを感謝します。 2. キリストと一つになっているので、何も不足がなく、いつも主に守られ、何も恐れる必要がないことを、祈りと賛美で味わう者になったことを信じます。 3. 御言葉・祈り・賛美によって、勝利者キリストの力を自分の力として味わい、サタンを滅ぼして神の国を奪還する勝利する者の答えを受けますように。
お知らせ	1. 5 月 4 日～5 日 10:00～17:00 新しい家族の訓練 2. 5 月 29 日 10:00—18:00 働き人修練会 3. 日本語学科の設立のための祈りをお願いします。
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄 5 丁目 23-8／tel:052-238-6003 主日(日曜)1 部礼拝 7:00 / 2 部礼拝 10:00 / 3 部礼拝 12:00	